

宮崎県結核予防計画改正案に係る意見

ページ	項目番号 項目名等	意見	理由等	対応
1	21行目	県の本計画の内容を県民、関係者に理解してもらうため、国の予防指針の概要を掲載してもらいたい	県民、関係者に本計画を留意して取り組んでもらうには、国の予防指針の理解が必要と考える	変更しない (理由) 国の予防指針は分量も多く、県の計画に入れるのは難しい
2	2日本の結核の現状	日本版21世紀型DOTS戦略が(参考)に記載されているが、現在、実施しているDOTSカンファレンスおよびコホート検討会が県の対策の1つであることを明記した方がいいのではないかと思う。	結核患者支援、地域の課題や対策につながるものであるため、結核対策の推進に必要と考える	追加変更 「本県でもDOTSカンファレンスおよびコホート検討会を軸とした対策を実施している。」を追加
6	県の目標	結核発生の届け出について、平成23年の86.6%を100%に設定するのは当然である	結核発生の届け出が100%でないのはどういう理由なのか	「診断後直ちに」届け出する割合を100%にするという意味である(届け出がされていない訳ではない)
	市町村の目標	定期健康診断受診率が平成24年は34.8%であるが、平成31年までに80%を達成できるのか	平成22年までの目標値も80%であったが、大幅に未達成である	変更しない (理由) 法定義務なので、目標値は高く設定する必要がある
7	定期健康診断	ハイリスク住民の定義が必要では	基礎疾患を持つ住民はすべてハイリスク集団とするのか	変更しない (理由) 新型インフルエンザ等対策政府行動計画にも同様の記載があるため

8		寝たきりで X-P が取れない場合には喀痰塗抹検査も重要であるが、QFT 検査も導入すべきでは		変更しない (理由) 高齢者は既感染率が高いため、濃厚接触者以外には積極的な実施が推奨されていない(接触者健診の手引き改訂第5版より)
		○病院、老人保健施設等 の表現	文言がばらばらなので同じ文言を用いてはどうか	変更しない (理由) 病院と同様、医師が常勤する施設であるため
10	6 県における関係部局の連携	連携の中にも企業の後に社会福祉施設(介護保険施設等含む)の文言が入ると良いのではないかと	新登録患者のうち、65歳以上が6割以上を占めていることから、定期健診受診率向上のために介護保険関係団体との連携や協力が必要と考える	追加変更 企業の後に、「社会福祉施設、介護保険施設等」を追加
	7 県における保健所及び衛生研究所(県感染症情報センター)の役割分担	「7 県における保健所及び衛生研究所(県感染症情報センター)の役割分担」及び「○衛生環境研究所(県感染症情報センター)は、結核の技術的かつ～」の(県感染症情報センター)が不要	結核菌分子疫学調査を実施しているのは微生物部であるため	変更しない (理由) 発生動向調査の分析は県感染症情報センターで行っているため
11	2 接触者健康診断	「～、対象以外への業務への一時的従事等による対応が基本である旨を対象者等に周知する」の表現	表現が難しくて内容が分かりにくい	変更 制限対象業務を具体的に記載 「接客業等、多数の物に相対して接触する業務」
13	4 医療機関等における結核医療の提供	新たに「医療従事者への二次感染を予防する」を入れてはどうか		追加変更 「○医療機関は、医療従事者への二次感染を予防するための措置を講ずる」を追加

1 4	5 結核患者の移送のための体制	移送する場合に、二次感染を予防する等の項目を入れてはどうか		追加変更 「○移送時には、二次感染を予防するための措置を講ずる」を追加
1 7	3 国際協力の推進	(観光資源に恵まれ～今後ともますます進展すると思われる。)の二行は省いたほうが良いのではないか	観光客は他県も多く、予防計画にはあまり必要ない文章ではないか	変更 「本県は、地理的にアジア地域と近く、航空機の直行便もあり、国際交流は今後とも進展するものと思われる。」に変更
2 2	統計	新登録者等の年齢の推移等も掲載したほうが良いのではないか	年齢の推移があった方がわかりやすい	追加変更 「資料5 新登録患者の年代別割合の推移」を追加

その他 文字の修正等

ページ	項目番号 項目名等	修正事項	理由等
1	はじめに 1 2 行目	結果医療 →結核医療	
1 1	3 結核の診査に関する協議会	感染症審査協議会結核部会 →感染症診査協議会結核部会	
1 3	3 結核病床	国民健康保険中部病院 →日南市立中部病院	名称変更